

エクストリームウィンターチャレンジ2008 信州高山大会

優勝チームコメント

いや〜んばか〜ん 清水 直樹 さん

待ちに待ったウィンターチャレンジの開幕です。昨年の高山大会で優勝することができた僕たちは、ゲンの良いこの大会に出場することを楽しみにしていました。この機会に僕たちのチーム「いや〜んばか〜ん」の自己紹介をさせてください。

- 半田 豊 48歳 MTB、バドミントン、ランニングが運動のベース、山菜取りの名人。
- 清水直樹 47歳 MTB、スキー、トレイルランが趣味の都会育ち。

と、まあ、世間で言う中年（僕たちは日本で一番年のいった青年だと思っています。）のチームです。

レースは、恒例に従い、チームチャレンジでスタートしました。2チームで協力して高さ80センチ以上の雪だるまを作り、それを終えた順にオリエンテーリングに向かう、というものです。粉雪でだるまを作るのは、思いのほか大変でしたが、僕たちは最初に終えることができました。何度かこのシリーズに参加していますが、ホールショットを取ったのは初めてで、幸先は良かったです。

今回のコースは、林道の長い長い登りの後に、新雪の積もった林の中やグレンデの急斜面を下るといって、適度に冒険が加わった楽しいものでした。しかし、このオリエンテーリングはミス連続でした。コース脇に飾りのように設置されたチェックポイントを見落とししたり、蛇行する林道の登りをショートカットしたところ、斜面が急すぎて途中で引き返したり、ショートカットすべきところを迂回したりと、かなりタイムロスしてしまいました。

極めつけはレース最後のチームチャレンジでした。チームメンバーの片方が投げたfrisbeeを、相方が我部さんより先に走ってとらなければ負けになり、タイムペナルティを10分科せられるものでした。やる気満々元気いっぱいの我部さんは、最初に到着した僕たちを簡単に負かし、僕たちは、ありがたないペナルティをいただきました。

このため、僕たちは最初にゴールしたのですが、優勝が確定する10分を（後続がゴールしないよう）待つ間、気が気ではなかったです。そして、最終的には二連覇をすることができ、とてもうれしかったです。